

①令和5年度の Best Book発表!!

1学期がスタートしてもう1か月がたちました。みなさんはこの間に図書館に足を運びましたか？

昨年度は一人当たりの年間平均貸出冊数が3.9冊になり、令和4年度より大幅に増加しました。

さて、その中身は？ 貸し出された回数の多かった本の中からベスト5の紹介をします。

全体的には、忙しい合間にも読めるショートストーリーが人気でした。



順位	作品名	著者
1	5秒後に意外な結末／ミノタウロスの青い迷宮	桃戸ハル u s i
1	君の傷痕が知りたい	汐見夏衛 ほか著
3	文豪ストレイドッグス 太宰、中也、十五歳	朝霧カフカ
3	文豪ストレイドッグスBEAST	朝霧カフカ
3	5分で読書：恐怖はSNSからはじまった	カドカワ読書タイム 編

②早速、125冊の新刊が入っています！



きみのお金はだれのもの
田内学／著 東洋経済社

大金持ちのボスから1億円の札束を見せられ「しょせんは10キロの紙切れや」と言われた中学生のボクは、モーレツに反発するが…お金に関する3つの謎を解いたとき、世界の見え方が変わった。大人も子どもも知っていてほしい経済小説でありながら、最後には感動に涙する！



ぼくが消えないうちに

A.F.ハロルド／著 ポプラ社

ラジャーはアマンダの想像力から生まれた友達。二人でする冒険は楽しいだけのはずだったのに…。昨年、映画になった「屋根の上のラジャー」の原作本。想像力にあふれた小さい頃を思い出して、胸が熱くなる作品。



夜空にひらく

いとうみく／著 アリス館

親の愛情を知らずに育った主人公。花火屋の職人たちに囲まれて、少しづつ心を開いていく。本を読みながら、みんなの思いのこもった花火の色や音が目に浮かんできちゃう。人の心も花火も美しいと感じる本。



変な絵

雨穴／著 双葉社

何気なく見ているだけではわからない「絵」の持つ意味。順番、大きさ、配置などをよく考えてみれば、意外な事実が浮かび上がってくる！？ 注意深いあなたは、どこまで読み解くことが出来るかな？



ぼくはいったいどこにいるんだ

ヨシタケシンスケ／著 ブロンズ新社

今どこにいて、どこに行くのか。ヨシタケシンスケらしく、3次元を上回る発想の世界が広がっていく。彼の絵本を読むと、いつしか素直に自分を見つめるていることに気づくから不思議！！



このほかの本も、別紙の新刊リストでご覧ください